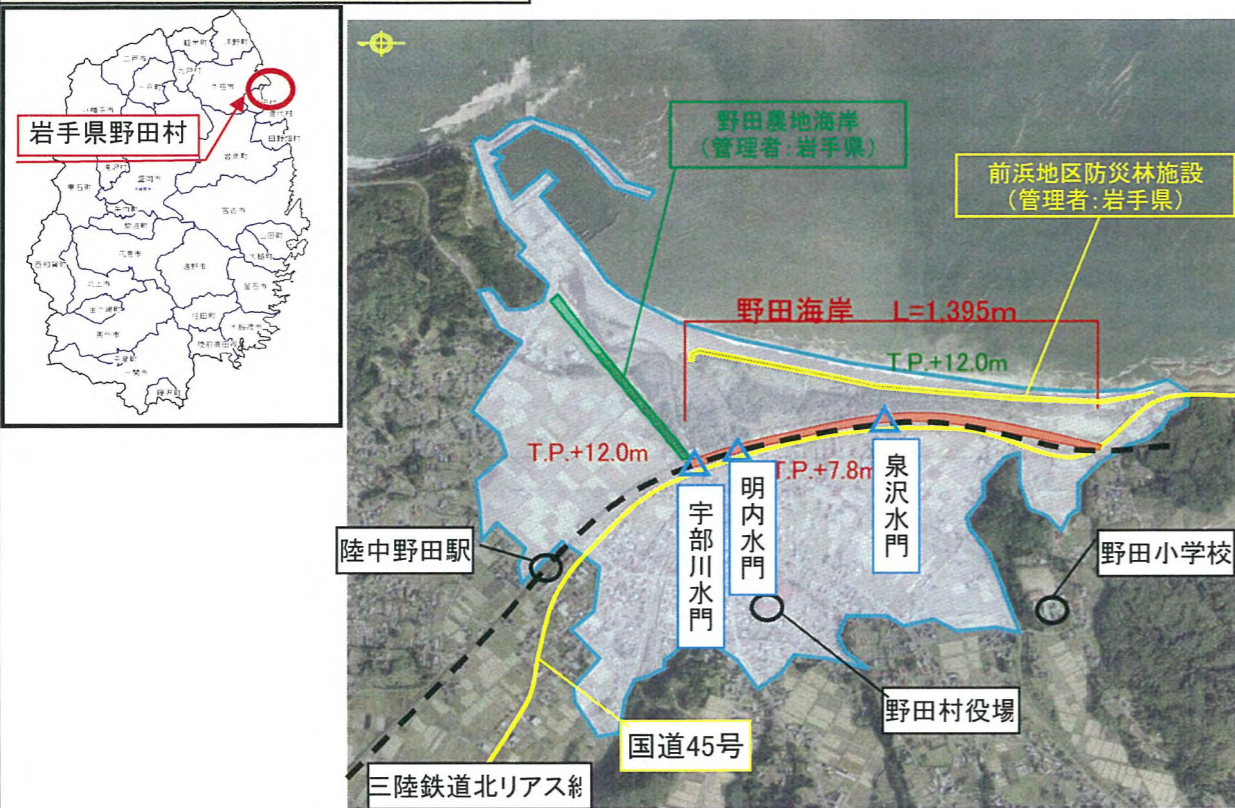


**【位置図】（被災前施設状況）**



**【被災前後比較航空写真】**



被災前状況 H22.3.9 撮影

被災後状況 H23.3.28 撮影

**【計画堤防高の設定】**

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
  - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
  - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
  - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、野田海岸では新計画堤防高をT.P.+14.0mと設定し、第一線堤の林野庁所管堤防の北側に防潮堤・水門を新設する方針（第二線堤は原形復旧のみ（沈下戻しなし））。

**【被災状況写真】**



被災直後 堤防背後の被災状況



第二線堤被災状況（水・国局所管堤防）

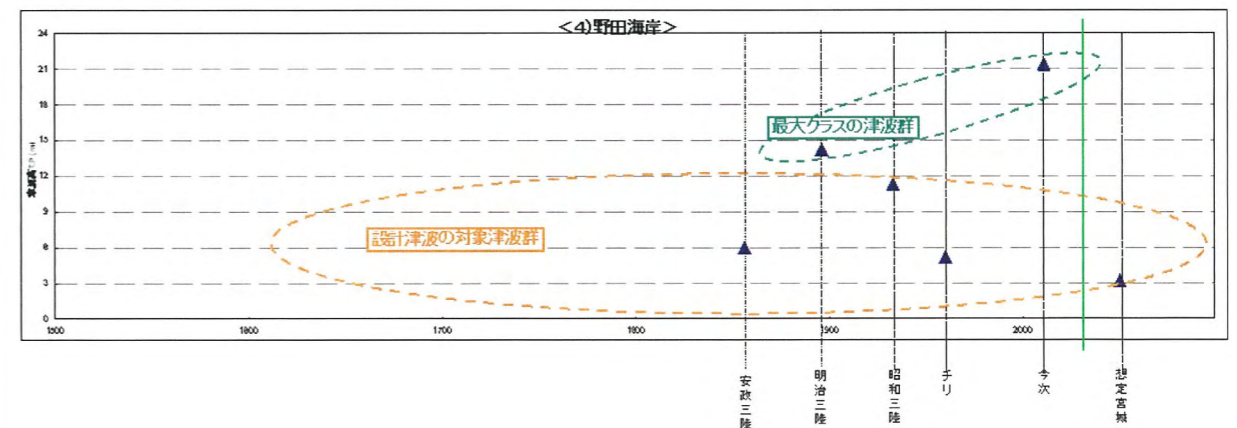


陸閘被災状況（水・国局所管陸閘）



泉沢水門被災状況（水・国局所管水門）

**【設計対象津波の選定】**



**【計画堤防高の設定】**

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
野田海岸	21.4	昭和三陸地震	13.0	14.0	○	14.0	7.8～12.0

単位:m(T.P.)

# 野田村復興まちづくり計画

## 海へ足を運びやすくする都市公園

都市公園や緑地(緑状形盛土)を整備されてからも、海を眺める、潮の音を聴くなど海とのつながりを保つため、中心部から都市公園へ日常的に足を運びやすい空間づくりを目指します。  
 \*第3堤防(緑状形盛土)は桜並木など遊歩道として活用  
 \*市民が手入れをするハマナス畑など、自らが活用し体となり愛着を持って管理・仕組みの導入

## 新しい雰囲気交流サロン

新しい要素を取り入れながら、村の持つ安心感やゆとりとした生活スタイルの良さを活かして、市民が自然に集まってくる居心地の良い場を目指します。  
 例:空き店舗などを活用したカフェ、音楽、アート、木など新しい要素をもった交流サロン

## 明内川を活用した水と緑の空間

これまで身近な存在であった明内川は、中心部をななめに流れ、山と海をつなぐ自然の景観として重要な意味をもちます。親しみある川とのつながりを継承することを目標とします。  
 \*川沿いを、公園、遊歩道としての活用  
 \*緑の縁を緑地や公園と一体的にするなど、緑が広がるような取り組み  
 \*沿岸周辺に、親水空間など人の集まる場の形成

## シンボルとしての本町通り

本町通りは、村に誇りや重要な意味合いを持つ通りです。賑わいとしての雰囲気を継承し、村の目抜き通りとして特徴ある街並みの形成を目指します。  
 \*歩道、多目的遊歩道や歩行者専用道など  
 \*建物の建て替えや緑地など、沿道の連続性の創出

## 大島居前のお祭り広場

祭事などでも中心となる大島居の周辺は、人のたまりと交流を創出する空間を目指します。  
 \*お祭りなどの伝統行事や十六日町などの市、オープンスペースとしての活用

## 人をよびこむ役場前通り

道の駅から中心部へ人を呼び込む役割を担います。国道からの沿道景観は、村の中心部へつながることが伝わる空間づくりを目指します。  
 \*緑地や街灯など特徴的な空間、花いっぱい運動など沿道景観づくりの推進

## つながりの場となる津波復興記念館

本町通りと明内川の交差点を整備する津波復興記念館は、村の玄関口としての空間、市民のつながりの場となることを目指します。  
 \*明内川と一体になった広場や、交流サロンなど気軽に利用できる機能  
 \*鉄道のシンボルとなる建物デザイン

## 食や寒りに四季を感じる街並み

田畑の盛りや産物の収穫も、四季を感じさせる要素となっています。四季を感じる街並みや人のつながりの創出を目指します。  
 \*既存の田畑の維持  
 \*住宅の産物などの活用  
 \*四季を感じる花木を産物に隣接するなど街並み形成

## まちなかを回遊できる散歩道

役場と都市公園を結ぶリング状の通りは、中心部と都市公園、海とのつながりを保つために重要な意味を持ちます。自然を身近に感じられる気持ちの良い散歩道を目指します。  
 \*第3堤防(緑状形盛土)にスロープ状の回遊通路を設け、リング状の散歩道を形成  
 \*足元の美しさを演出する舗装等を検討  
 \*四季を感じる花木を産物に自由に隣接するなど、街並みづくりの推進

## 川や緑とつながった公共ゾーン

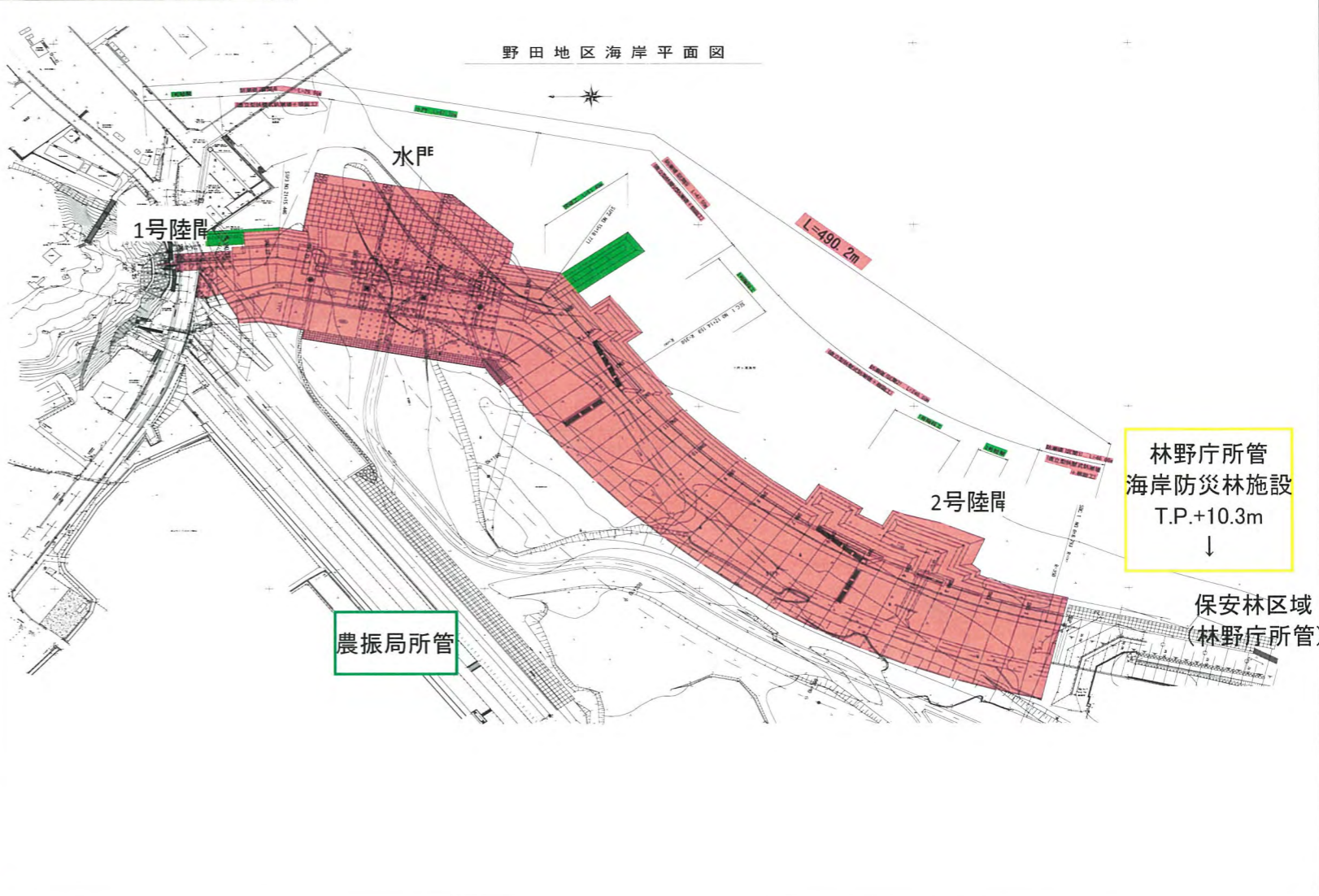
公共ゾーンは、周辺の川や緑を取り込み居心地の良い空間を目指します。



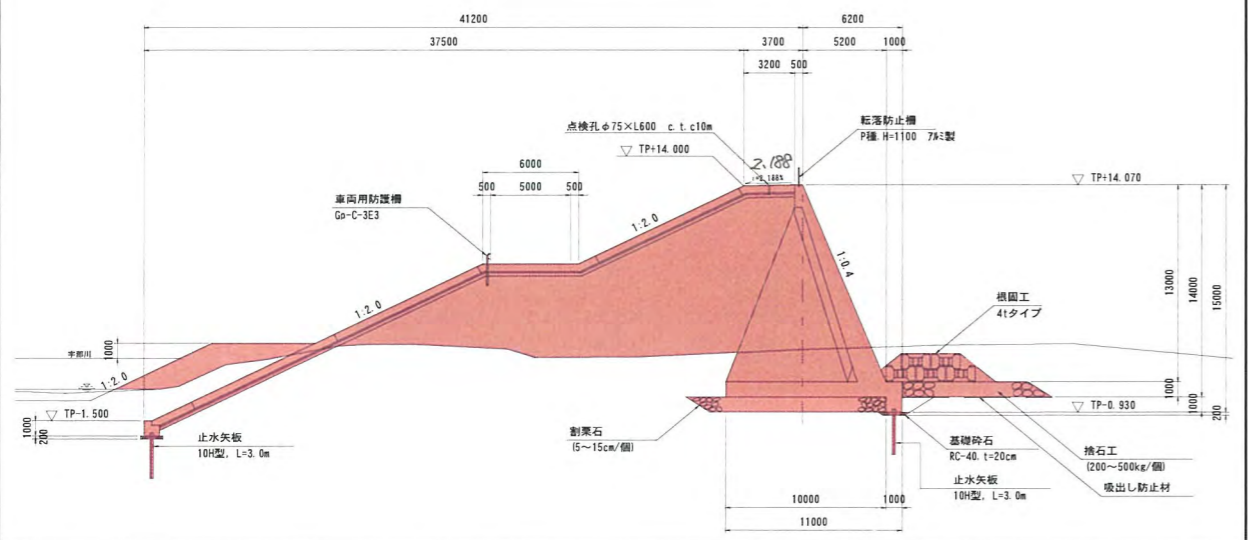
※あくまでイメージであり、今後変更の可能性があります。

出典:野田村復興まちづくり計画(平成25年4月)

# 【復旧方針平面図】



# 防潮堤標準横断面図



# 水門正面図

